
英語前置詞 through

佐々木 剛志

Abstract

The English preposition *through* is a form that can be traced back to the Old English. The OED Online has six lexical items spelled as through. The concept which can cover various uses of the word as adverbs and prepositions, adjectives, even a noun is ‘a contiguous action between an entrance point and an exit point.’ In this study too we will see the OED Online, several English-English dictionaries for native speakers and ESL/EFL students, grammar reference books, and other resources for understanding the preposition, etc. to see if this concept can explain the meanings and examples given in them.

概 要

Through について、前置詞、副詞の両方の用法を説明できる概念としては「通り抜ける」という概念で種々の用法を説明できるかどうかをこの小論では追求している。それを OED Online、学習者用英々辞典、参考書、更には文法書等に挙げられた意味、例文を見ていくことにより説明しようとする。更にこの語は名詞、形容詞としても使われている。形容詞の用法は副詞、前置詞としての用法からが派生している。

1.0. 各種英々辞典, 学習者用参考書, 専門書などで through がどの様に扱われているかを見ていく。

1.1. Oxford English Dictionary Online (2015 とは言うものの Online は順次改訂でこの項目は 1912 が最初の出版年でその後改訂されていないことが online 上にきちんと明示されている) の through を見ると, 検索で出て来た形としては辞書項目としては 6 つあり, 今回の小論の前置詞と副詞の他に名詞, 形容詞がある。最初が through とも綴られる名詞の through で, 初出が 1502 年で, 語源は不明で, 意味の点でもこの語は「紙 1 枚」の意で, ここで扱う through との関係は見られない。次も名詞でこれは OE にまで遡り, 初出が 700 年頃で, 現在では使われないが, 溝等の意味で, その点では前置詞, 副詞の through と関係がない訳ではない。他の意味としては棺, 墓石の意味がある。次も名詞で, 方言等で使われ, thorough の意味に使われる。初出は 1777 年である。次が形容詞で初出が 1523 年である。これは本論の対象の前置詞, 副詞からの派生の意味で, 通り抜ける, あるいは変化, 中斷無しに続く意と thorough の意味で, 現在では使われない意味も持つ。本論の対象の前置詞, 副詞は OE にまで遡り, 前置詞の方は片方の端から反対の端までの動き, あるいはそれから派生した意味を表すものであるとある。副詞の方は, break through, carry through, fall through 等, 動詞と結合して端から端までの意味を持ったり, 最初から終わりまでだったり, 動詞 be と共に使われ, 最終地点を表したり, thorough の意味を持ったりする。through and through の様に使われ, 完全の意味を持ったりもする。そして最後が through を使った諸表現で, これも初出は 700 年頃である。ここでは引用例は省く。

1.2. 次に英語を母語として使う人にとっての語法の指針となることを目指した The American Heritage Dictionary of the English Language (AHD) を見ると, ここでは through は辞書項目としては 1 つで, 中が前置詞, 副詞と形容詞に

分かれている伝統的辞書項目である。

前置詞の方から見ていくと、最初が反対側で、went through the tunnel がその例文で、2番目が中、間で、a walk through the flowers が例文、3番目が通り道を表し、climb through the window がその例文、4番目が2つに分かれ、最初が手段で、bought the antique vase through a dealer がその例文、2番目が中、扱いで、went through our office がその例文、5番目があちこちで、a tour through France がその例文、6番目が最初から終わりまでで、stayed up through the night がその例文、7番目が終わりで、We are through the initial testing period. がその例文、8番目がそこまでで、a play that runs through December と a volume that covers A through D がその例文、9番目が止まらず、過ぎるで、drive through a red light がその例文、10番目がお陰で、She succeeded through hard work. がその例文である。

副詞としての through は5つに分かれ、最初がある地点から他の地点へで、opened the door and went through がその例文、2番目が初めから終わりまでで I read the article once through. がその例文、3番目が全体で、warmed the leftover clear through, got soaked through in the rain. がその例文、4番目が道全体で、drive through to their final destination がその例文、5番目が終わりで、see a matter through がその例文である。

次が形容詞で、これは6つに分けられ、最初が継続して行くことを許すで、a through street がその例、次が2つに分かれ、交通機関が目的地までほとんど止まらず、乗り換え無しでいくことを許す a through ticket と道路を出ないで行く through traffic, through lines, 3番目が片端から他の端までいく a through beam, 4番目が終わりを表すもので、例文が She was through with the project. である。次が心配、関係がないことを表すもので、I'm through with him. が例文である。最後が価値、可能性がないことを表すもので、例文が That swimmer is through as an athlete. である。

語源の点では中英語の thurh, そして古英語では thurh で、これが PIE

の *tere-*, これからの派生語としては, *thrill, nostril, thorough, through, trans-, transient, trench, trunk* がある。PIE としては意味の点では渡る, 通り抜ける等の意で, ゲルマン語の *thur-ila-* 繋がるとある。

1.3. 英語話者の語法上の指針となっている Burchfield (1996) では最初に電話でのイギリス英語とアメリカ英語の *through* の違いを *You are through*. 「繋がりました」の意味と *Are you through?* 「終わりましたか」の *through* の意味の違いを述べ, 交換手を通した電話のやり取りの際に両者で違うことを念頭に置く必要があることを述べ, とは言っても *Are you through with that?* という日常会話においては両者に差はないが, *Yaweh was through, now with speech. I'm through eating.* はアメリカ英語であると述べる。また *Monday through Friday* というアメリカ英語の表現をイギリス英語話者は理解はするが, 使わないと述べる。従ってこの意味で *through* を使うとアメリカ英語の雰囲気を漂わすことになる」と述べる。

1.4. 次に英語を第 2 言語, 外国語として教える教師の文法指針書を目指した Celce-Murcia & Larsen-Freeman (1999) を見ると, 前置詞を扱う 21 章で, Dirven (1993) を引き, *through* は空間をトンネル, あるいは通り抜ける道として位置づけると述べる。例文は *Take the first path through the woods.* である。そしてまとめの所では空間としては通り抜けるの意で, *through the window, through the forest* を例として挙げ, 時との関係では期間を表し *through the years* がその例で, 慣用句としては耐えることを表し, *through thick and thin* を挙げる。

1.5.0. 次に英語を第 2 言語として修得しようとしている学生のための種々の英々辞典で *through* がどう扱われているかを見ることにする。

1.5.1. CIDE に替わった新版, *Cambridge Advanced Learner's Dictionary* third edition (CALD3) では through は辞書項目としては 6 つある。この辞典では従来から意味が違ふと別の辞書項目として立てるので、意味の点で through を 6 つに分けていると言っても良い。第 1 が、前置詞、副詞で、場所の点で、片端、片側から他の端、他の側の意で They walked slowly through the woods. 等を例としてあげる。2 つ目は場所で、これも前置詞、副詞で、期間の初めから終わりまでで、It rained all through June and into the first half of July. 等を例として挙げる。3 つ目が結果を表す前置詞で、The company lost the order through production delays. を例として挙げる。4 つ目が用いての意味で、前置詞で、I got my car through my brother who works in a garage. 等をその例として挙げる。5 つ目が終わるの意で、I've got some work to do but I should be through in an hour if you can wait. 等がその例として挙げられている。6 つめが成功の意味の形容詞で、“Has she heard about her entrance exams yet?” “Yes, she's through.” 等が例として挙げられている。

1.5.2. *Collins COBUILD Advanced Dictionary of English* (CCAD) は through は辞書項目としては 1 つで、それが意味の点で 26 に分けられている。そのうち前置詞が最初のものとして挙げられているのが 1 から 13 までで、14 が副詞で、15 から 18 までが前置詞、19 が副詞、20 が前置詞、21 が副詞、22, 23 が前置詞で、24 が形容詞、25 が副詞で、26 が through and through の意味説明である。最初が穴とか管を端から端まで通ることを表し、例文としては Visitors enter through a side entrance. 等が挙げられ、この意味では副詞としても使われ、He went straight through to the kitchen and took a can of beer from the fridge. が例文の 1 つとして挙げられている。次が 2 つに切るか穴を開ける意味で、前置詞の例文の 1 つが a proper fish knife and fork if possible as they are designed to cut through the flesh but not the bones. であり、副詞の方は Score lightly at first and then repeat, scoring deeper each time until the board is cut through. がその例文で

ある。3 番目が町, 国等を通して行く意味で, Go up to Ramsgate, cross into France, go through Andorra and into Spain. がその例文で, 副詞の方は Few know that the tribe was just passing through. が例文である。4 番目が We made our way through the crowd to the river. を前置詞の例文とする両端を通る意味で, 副詞の方は He pushed his way through to the edge of the crowd where he waited. がその例文である。5 番目が障壁を通り抜ける意味で Allow twenty-five minuets to get through Passport Control and Customs. が前置詞例文で, a maze of concrete and steel barrier, designed to prevent vehicles driving straight through が副詞の例文である。6 番目は前置詞のみで, 赤信号を通り抜ける意味で, He was killed at a road junction by a van driver who went through a red light. が例文である。7 番目も前置詞, 副詞で動詞 pass と共に使われるもので, The ends of the net pass through a wooden bar at each end. I bored a hole so that the fixing bolt would pass through. がそれぞれの例文である。8 番目も前置詞, 副詞で, go through の意味で, electric currents travelling through copper wires. It is also expected to consider a resolution which would allow food to go through immediately. がそれぞれの例文である。9 番目は前置詞のみで, 知覚動詞と共に使われるもので, Alice gazed pensively through the wet glass. がその例文である。10 番目は全体にあることが起こっていることを表す前置詞で, An atmosphere of anticipation vibrated through the crowd. がその例文の 1 つである。11 番目は前置詞, 副詞で, 期間の初めから終わりまでを表し, She kept quiet all through breakfast. We've got a tough programme, hard work right through to the summer. がそれぞれの例文である。12 番目がアメリカ英語の open Monday through Sunday from 7: 00 am to 10: 00 pm. がその例で, イギリス英語では through ではなく to を使えとある。13 番目は前置詞のみで, 経験, 出来事と共に使われ Men go through a change of life just like women. が例文である。14 番目は繫辞動詞と共に使われる形容詞で, 終わりを表す。例文は I'm through with the explaining. である。15 番目は half-way through, all the way through の説明で, 前置詞, 副詞として使え

る。16 番目が原因を表す前置詞で、They are understood to have retired through age or ill health. がその例文である。17 番目が手段を表す前置詞で Those who seek to grab power through violence deserve punishment. がその例文である。18 番目が人を介して何かをするとその人に任せることになることを表す前置詞で、Do I need to go through my doctor or can I make an appointment direct? がその例文である。19 番目が議案等に関する副詞で、Is it possible that the Present Governor General will be made President, if the proposals go through. が例文で、前置詞もあり、そちらの方は They want to get the plan through Congress as quickly as possible. が例文である。20 番目は試験に通る、競争に勝つことを表し、前置詞、副詞で、She was bright, learned languages quickly, and sailed through her exams. Nigeria also go through from that group. がそれぞれの例文である（Nigeria の例文は 3 単現の点でやや気になる例文である）。21 番目が電話で、He may find the line cut on the telephone so that he can't get through. が例文である。22 番目がたくさんのものを点検することに関係するもので、Let's go through the numbers together and see if a workable deal is possible. がその例文である。23 番目が読むことに関する前置詞、副詞で、She read through pages and pages of the music. He read the article straight through, looking for any scrap of information that might have passed him by. が例文である。24 番目が修飾形容詞で直通を表し、Britain's longest through train journey, 685 miles. がその例である。25 番目がすっかり濡れていることを表す副詞で、I returned to the inn cold and wet, soaked through by the drizzling rain. がその例である。最後が through and through という句の説明で、すっかりの意味で、I've gotten my feet thoroughly soaked and feel frozen through and through. がその例文である。

1.5.3. 次に *Longman Dictionary of Current English*, third edition (LDOCE3) では through は辞書項目としては 2 つで、最初が前置詞、副詞で、2 つ目が形容詞である。

前置詞、副詞は意味の点で、18 に分けられている。1 つ目が通り道等で、

詳しい説明として、入り口、通り道、穴等の端から反対の端までとあり、*She smiled at him as he walked through the door.* 等がその例として挙げられている。2つ目が穴が片方の端から他の端まで出来て、何かを壊しての意で、*A football came crashing through the window.* が例として挙げられている。3つ目がある地域の端から他の端で、*We passed through France on our way to Italy.* 等がその例として挙げられている。4つ目が何かを通して見る意味で、*I could see her through the window.* で英語での説明ではあるが、*through* を記述、あるいは定義するのに *through* を使っている。5番目がある場所を過ぎてで、*He drove straight through a red light.* 等がその例として挙げられている。6つ目が時で、ある期間の終わりまでで、*The cold weather continued through the spring.* 等が例文として挙げられている。7つ目が経験、過程の初めから終わりまでで、*The book guides you through the whole procedure of buying a house.* 等が例文として挙げられている。8つ目が競争である段階から次の段階に行くことで、*This is the first time they've ever made it through to the final.* 等がその例文である。9つ目が原因で *How many working days were lost through sickness last year?* がその例文である。10番目が手段で、*She got her first job through an employment agency.* 等が例文として挙げられている。11番目が議会との関係で *A special bill was rushed through Congress to deal with the emergencies.* がその例である。12番目が *until* の意味で、アメリカ英語では、その意味で *through* を使うとある。例は *The store is open Monday through Saturday.* である。13番目が *halfway through* の説明で *I left halfway through the movie.* がその例である。14番目がイギリス英語での電話での使い方で、*I tried phoning you, but I couldn't get through.* 等がその例として挙げられている。15番目がくだけた表現で、*wet through, cook through* 等の表現の説明で、意味としては完全に、*You're wet through.* 等がその例文である。16番目が *through and through* という慣用表現の説明で、すぐ前と同じく完全にの意で *I'll say one thing for Sandra—She's a professional through and through.* がその例文である。17番目がずっとの意味で、例文とし

ては Does this train go through to Glasgow? が挙げられている。最後が早く用いるの意味で、George Ward started smoking at the age of nine, and at one time he was getting through 80 a day. 等が例として挙げられている。

形容詞の方は意味の点で3つに分けられ、最初がくだけた表現で、ものとの関係、人との関係の終わりを示し、Are you through with the computer yet? と That's it! Simon and I are through. 等が例として挙げられ、2番目が a through train の説明である所に行くのに乗り換えたりしないで行ける列車の意、そして3番目が a through road で直道路路を意味する。

1.5.4. OALD8 は当然の事ながら、OED と同じ出版社なので 1.1. で述べた事と重複する所はあるが、こちらは英語を第2言語として修得しようとする学習者のための辞書である。OALD8 も OED と同じく依然として古典的に辞書項目としては1つであるが、それを品詞の点で分け、前置詞、副詞、形容詞と品詞別に分けている。through を見付けて、品詞を知っていれば品詞毎に改行されていて、更に青い小さな四角が黒い品詞表示（例えば *adj.*）の前についているので、すぐに然るべき品詞の項に行くことができる。更に、through が Oxford 3000 語の中に入っている重要単語であることも表示されている。そしてその後でそれぞれの説明が始められる。

そこで前置詞の所に行くと、最初が端から端までの意味で、The burglar got in through the window. 等例文が7つ並んでいる。次が知覚動詞と共に使われて、反対側を表し、I couldn't hear their conversation through the wall. が例文として挙げられている。次が動作、状況、期間の初めから終わりまでで、The children are too young to sit through a concert. 等がその例文である。4つ目が障壁、段階、試験等を通り過ぎるの意味で、Go through this gate, and you'll see the house on your left. 等がその例文である。5番目がくだけた形としての thru と同じく、北アメリカ英語での through の後の語を含んだ「まで」の意で、We'll be in New York Tuesday through Friday. がその例文である。6番目が手段、原因で

You can only achieve success through hard work. がその例文である。

次が副詞で、端から端までで、Put the coffee in the filter and let the water run through. がその例文である。次がもの、あるいは期間の初めから終わりまでで、Don't tell how it ends-I haven't read it all the way through yet. 等がその例文である。次が前置詞と同じく障壁、段階、試験等を通り過ぎる意味で、The lights were red but he drove straight through. がその例文である。4番目が止まらないでの意味で、This train goes straight through to York. 等がその例である。次が電話が繋がっている意で、Ask to be put through to me personally. が例文の1つである。そして6番目が形容詞の後に使われ、すっかりの意味を表し、例文として We got wet through. が挙げられている。慣用句としての through and through が最後に挙げられ、その意味が説明されている。

次が形容詞で、名詞の前で使われるというのが3つあって through traffic, a through train, a through road の説明で3つ目のにだけ例文があり、The village lies on a busy through road. がその例文として挙げられている。4つ目は名詞の前ではなく with と共に使われることがある北アメリカ英語での終わりをを表すもので、Are you through with that newspaper? Todd and I are through. がその例文である。

1.6. 大西&マクベイ(1996: 25-31)で、through は over に次ぐ重要な前置詞として取り上げられていて、その基本イメージは She passed through a tunnel. に見られる様に、通り抜けた、また The knife pierced his body through. に見られる様に貫いたである。また著者らが「子供たち」と呼ぶ基本意味から派生した意味で I am through with my girlfriend! に見られる終わってを表し、その中に Let's see it through. のやり遂げるがあり、また基本イメージからの派生では、I can see through your lies. Look! She's wearing a see-through blouse. を挙げる。更に He didn't get through the examination. を挙げ、成功するの意味もあると述べる。ただ基本イメージからでは同じ get through でも、We'll never get through

here. It's too crowded. の様に成功するとはならない。2 番目の派生意味としては「中^{じゅう}」があり、例文としては We partied all through the night. が挙げられている。同じ様に、 from April 1 through April 30, The police searched all through this area. The customs officer went through all my bags. も説明できる。I got soaked through. では徹底的にで、Chris is a gentleman through and through. も同様に説明できる。3 番目の派生意味としては、He spoke through an interpreter. に見られる様に「通して」の意味がある。ここから、原因、理由の意味が出て We made it through your help. He ran away through fear. が説明できる。

1.7. 英語の前置詞を意味論の観点から説明しようとした Tyler & Evans (217-227) では through の原義を、入り口地点、出口地点、そしてその間の連続地と捕え、全体を「道」として考える。そして、across との意味の対比を考え、

Chance, the gardener, walked across the water

Chance, the gardener, walked through the water

を挙げ、前者では水が固体表面として考えられるが、後者では水に入っていることを表すとある。

この道という原義から派生した7つの意味を順に論じて行く。その第1は動作の広がり、Mary worked through the pages of math exercises では原義から予想されるようなメアリがページの穴をくぐり抜けて反対側に行くというような意味ではなく、動作の広がりを表す。次が時間的なもので、The young man stood through the entire show 等がその例である。次が反対側という派生意味で My office is located just through that door がその例文である。4つ目が終結の意で、Adele read through the book と Adele is through with the book という2つの文を見ると、前者が動作の広がり、後者が終結の意味である。5つ目が伝達で、The comatose patient was fed through a tube 等がその例文である。6つ目が手段で、I get my coffee through an on-line retailer 等がその例文である。7つ目が原因で、The milk went sour through a lack of proper refrigeration がその例

文として挙げられている。

2.1. *Oxford English Dictionary Online* (2015) では名詞が溝という意味を持っていて、前置詞、副詞が一方の端から反対の端まで通ることを表すとある。形容詞の方も終結の意味、完全の意味を持っている。

2.2. AHD の *though* も反対側という概念から始まり、通り抜けるという概念を持ち、この概念で前置詞、副詞、形容詞が説明されている。

2.3. Burchfield (1996) では終結という概念で、イギリス、アメリカ英語の電話での意味の違いを説明できる。終結目標が繋がるか、終わるかでその違いが出てくる。

2.4. Celce-Murcia & Larsen-Freeman (1999) では空間概念を時の概念に優先させ、トンネル、道という概念で *through* を説明し、時も空間と同じ様に考えると期間の初めと終わりと考えることができる。

2.5.1. CALD3 は意味を重視した学習者用辞典で、通り抜ける、あるいは終着地に焦点を当てていて、そこから手段の意味も出てくることが分かる。

2.5.2. COBUILD も意味を重視して説明しているが、CALD3 に比べると分類が細かく 26 に分けられている。しかしながらそれも端から端までという概念で説明できる。アメリカ英語の *Monday through Friday* も終着地に重点をおいていると考えればこの説明で理解できる。手段も初めから終わりまでと考えれば当然出てくる意味である。

2.5.3. LDOCE3 もやや古典的な辞書項目の立て方で、前置詞、副詞は後ろ

に名詞が来るか来ないかなので同一項目としたのであろうが、形容詞は別項目として立てている。前置詞、副詞の方は終結地点と考えれば比較的理解しやすい。この概念は形容詞の方にも適用できる。

2.5.4. OALD8でも端から端という概念を使えば、いずれの例文も説明できる。形容詞の例も始まり地点から執着地点に重きを置いてと考えれば、途中止まらないという概念が自然に出てくる。

2.6. 大西 & マクベイ (1996) では through は通り抜け、貫きで、派生概念として、終結、中、通じての意味が出てくる。これは視点をどこに置くかで説明が出来る。

2.7. Tyler & Evans では今までの概念を学問的に説明しようとしている。原義を入り口、出口、その間と考え、その連続としての道がある。そしてそこから派生した7つの意味を説明する。

3. 結論として through は道、トンネルとして捕えることができ、道、トンネルには当然のことながら始まりと終わりがある。そしてどこに視点を置くかで、その持つ様々な意味を説明できるというのが本論の結論である。

参考文献

- Burchfield, R. W. 1996. *The New Fowler's Modern English Usage*, Third edition. Oxford: Oxford University Press.
- Celce-Murcia, Marianne & Larsen-Freeman, Diane. 1999. *The Grammar Book, An ESL/EFL Teacher's Course*, 2nd edition. Boston, Massachusetts: Heinle & Heinle.
- Dirven, R. 1993. "Diving Up Physical and Mental Space into Conceptual Categories by Means of English Prepositions." In C. Zelinsky-Wibbet (ed.) *Natural Language Processing (vol.*

- 3, *The Semantics of Prepositions*). The Hague: Mouton de Gruyter. 73–97 quoted in Celce-Murcia & Larsen-Freeman. 1999.
- Morris, William (ed.). 1970. *The American Heritage Dictionary of the English Language* (AHD). Boston: American Heritage Publishing Co., Inc. and Houghton Mifflin Company.
- 大西泰斗, ポール・マクベイ (Ohnishi, Hiroto & McVay, Paul Chris). 1996. 『ネイティブスピーカーの前置詞 (Neitibu supūkaa no zenchishi, Prepositions for native speakers)』. Tokyo: 研究社 (Kenkyuusha).
- Simpson, John (chief editor). 2015. Oxford English Dictionary Online. <http://dictionary.oed.com/>
- Tyler, Andrea & Vyvyan Evans. 2003. *The Semantics of English Prepositions: Spatial scenes, embodied meaning and cognition*. Cambridge: Cambridge University Press.

英々辞典

- The American Heritage Dictionary of the English Language*, third edition (AHD), 1992.
- Cambridge Advanced Learner's Dictionary*, third edition on CD-ROM (CALD3), 2009.
- Collins COBUILD Advanced Dictionary of English* (CCAD), 2009.
- Longman Dictionary of Contemporary English*, third edition (LDOCE3). 2003.
- Oxford Advanced Learner's Dictionary of Current English*, eighth edition (OALD8), 2010.